

平成 30 年度事業報告書

～地域とともにあゆむ～

社会福祉法人 敬愛会

目 次

1. 事業報告概要

(ア) 実施事業

(イ) 役職員配置状況

(ウ) 法人内有資格者一覧

2. 事業報告

(ア) 法人本部

(イ) 総務部

(ウ) 介護部

(エ) 在宅介護事業部

平成 30 年度事業所別業務への取り組み

3. 平成 30 年度利用実績状況

1. 事業報告概要

～「つながりをチカラに」私たちは地域に愛される法人を目指します～

はじめに

本年度が1年目となる那須烏山市地域福祉計画ならびに高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画において重点課題として「地域包括ケアシステムの深化」、「地域共生社会の実現」が掲げられ、深刻な介護人材不足等の各種経営課題に加え、社会福祉法人としての役割がより地域から期待される内容となりました。

これらに対する本会としての取り組みの柱は、基幹事業の強化を軸とした経営基盤の安定、そして高齢者介護以外の総合福祉事業法人としての拡大化、法人の大規模化。これらなくして地域共生社会の実現は叶いません。

本会は「Breakthrough」を行動スローガンに事業計画策定時において定めた4つの課題について以下のような取組を行いました。

1 介護報酬改定に伴う経営基盤の強化

平成30年度に改定された介護報酬はプラス0.54%の増額となったが、基本部分以外の加算による増額部分も多く、加算要件とその収入見込額および当該加算を取得するために必要な人員の確保が困難であり、基本報酬の増額部分以外での増額は見込めなかった。また、デイサービスなどの在宅介護部門においては基本報酬のマイナス改定があり、結果として当初の見込み通りの収入増は達成できませんでした。それに加え、特養の入居待機者の減少および近隣施設の増加などに伴い、在宅サービスの年間稼働率も思うように伸びず、改めて市場競争に打ち勝つ競争力の必要性を感じる結果となりました。また、一部老朽化している施設における修繕費用も今後増大することから適切な積立および資産運用を行い、強い財務基盤の構築を目指していきます。

高齢化率ならびに高齢者数のピークをもうすぐ迎える本市の高齢者福祉事業において、今後減少が予想される中でこれらのパイの取り合いのみに集中するだけでなく、本会がすでに経営している保育事業ならびに令和元年7月に事業開始となる障害者福祉事業等を含む全ての福祉事業を幅広くカバーし、人口動態の変化による経営リスクを最大限低減させ、かつ地域共生社会の実現に向け攻めの姿勢を貫いていきたいと考えております。

2 様々なキャリアに対応可能なキャリアパスの構築

令和元年度より一部施行となった「働き方改革」に向け、様々な家庭環境、生活スタイルを有している職員一人ひとりが、公平かつワークライフバランスが可能となるよう法の改正に向けた法人全体の説明会を行い、あわせて改正に伴い見直しが必要となった各種規定の改定を行いました。また、令和元年度より従来の出勤簿方式による出席確認をインターネットによる出勤確認方式へと改め、ICT技術を用いた労働管理体制へと移行させました。

この働き方改革の推進により、職員の働き方の改善が期待できる一方でさらに現場の人材難が露呈され、介護ならびに保育サービスへの質の低下につながりかねません。そのため本会では今後、業務におけるタスクシフティングを積極的に行うとともに、ICT、IOT 機器の積極活用により既存人員の有効活用はもとよりブランディング強化による、市外からのインバウンド労働の獲得に努めてまいります。

3 新規事業整備の推進

平成 29 年度より計画を進めておりました、障害者福祉事業を含む多機能事業所「リエゾンコミュニティラボ」の整備について、平成 30 年 11 月より本工事を着工させ、令和元年 5 月末に完成させることができました。今後は 7 月のオープンに向け、準備を進めていきたいと考えております。

4 さまざまなリスクに伴う事業継続計画の策定および実施

本会に直接的な被害はなかったものの、本年度は全国的にみて非常に災害の多い年でありました。本年度は当初の計画通り、事業継続計画（BCP）を策定し、災害発生時における速やかな非難だけでなく、スピーディーな事業復旧を目指し、経営基盤を直ちに立て直すとともに、地域に向けた災害時福祉避難所の開設が可能な状態を作れるよう体制を整えました。また、例年開催している本会主催の地域シンポジウムにおいては、災害時における相互連携体制の強化を行政機関などと議論できる場を設け、地域社会に対する福祉施設としての役割を示すことができました。

（備考）

平成 31 年度を一律に「令和元年度」と表記をしております。

（平成 31 年 4 月も含む）

(ア) 実施事業

第1種社会福祉事業	
特別養護老人ホーム敬愛荘の設置経営	定員 80 名
特別養護老人ホームてんまりの杜の設置経営	定員 29 名
第2種社会福祉事業	
短期入所生活介護事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員 15 名
デイサービスセンター事業の実施（特別養護老人ホーム敬愛荘）	定員 30 名
居宅介護支援事業の実施（敬愛荘在宅介護支援センター）	
グループホームさらいの設置経営	定員 18 名
小規模多機能ホームなごみの設置経営	定員 29 名
事業所内保育施設にじいろ保育園の設置経営	定員 10 名

(イ) 役職員配置状況（等級別）

理 事	6	理事長 1 名 常務理事 1 名（常勤）
評議員	7	
監 事	2	

	常 勤	常勤（兼務）	パート	計(名)
理事長 1 名（統括施設長兼務）		1		1
特別養護老人ホーム敬愛荘				
施設長級職員		(1)		
部長級職員		1		1
課長級職員	4			4
主任級職員	9			9
一般職員	36		13	49
合 計	49	2(1)	13	64
特別養護老人ホームてんまりの杜				
常務理事（にじいろ保育園長兼務）		1		1
課長級職員	1			1
主任級職員	4			4
一般職員	13	1	3	17
合 計	18	2	3	23
グループホームさらい				
センター長級職員	1			1

主任級職員	1			1
一般職員	8		3	11
合 計	10	0	3	13
小規模多機能ホームなごみ センター長級職員	1			1
主任級職員	1			1
一般職員	6	(1)	6	12
合 計	8	(1)	6	14
事業所内保育施設にじいろ保育園 園長		(1)		(1)
主任級職員	1			1
一般職員	4		3	7
合 計	5	(1)	3	8
敬愛荘在宅介護支援センター 主任級職員	1			1
一般職員	2		1	3
合 計	3		1	4
那須烏山市地域包括支援センター からすやま センター長級職員	1			1
一般職員	2(1)			2
合 計	3(1)			3
法人合計	96(1)	4(2)	29	129
男女比率 男性 32% 女性 68%	平均年齢 42.5 才			
平均在籍期間	7 年 9 カ月			

(ウ) 法人内有資格者一覧

介護福祉士	49 名
社会福祉士	1 名
社会福祉主事	14 名
介護支援専門員	10 名
介護福祉士実習指導者研修修了者	3 名
ユニット施設管理者研修修了者	2 名
ユニットリーダー研修修了者	6 名

認知症介護管理者研修修了者	5名
認知症介護実践研修修了者	14名
看護師	4名
准看護師	7名
管理栄養士	1名
栄養士	2名
保育士（現業）	5名
衛生管理者	4名
言語聴覚士	1名
理学療法士	1名

2. 事業報告

(ア) 法人本部

(1) 事業管理

- ・ISO維持審査委託契約 10月
- ・被災地介護施設再開支援事業 福島市南相馬市へ派遣
- ・人材育成のための奨学金制度の実施
社会福祉主事認程講座申請者 1名
- ・多職種連携県外研修上期参加者 5名／下期参加者 5名
- ・地域包括支援センター経営
- ・イルミネーション屋外装飾実施（敬愛荘）開催期間 12月～3月

(2) 人事管理

求人活動実施報告

就職面談会参加 16カ所	面談者数 39名	応募者数 30名	採用者数 27名
--------------	----------	----------	----------

(3) 財務管理

- ・計算書類の公開／現況報告書／役員報酬基準の公開
- ・社会福祉充実残額の明確化

(4) 新規事業

- ・新規事業用地の契約、購入
- ・共生型多機能事業所設計管理業務委託契約
- ・共生型多機能事業所新築工事契約

(5) 公益的取組み

桔梗寮夏祭り参加	8月23日
第54回関東ブロック老人福祉施設研究総会	9月11日
いちごハートねっと事業連絡会議	9月19日
RUN伴栃木2018参加	9月22日
出前講座(烏山高校)	10月24日
烏山学開催	10月25日
全国老人福祉施設研究会議	10月30日
介護の日フェスティバル参加	11月11日
子育てセミナー実施	11月22日
地域シンポジウム開催	12月2日
出前講座(馬頭東中学校)	1月18日
介護・保育研究発表会	3月16日



RUN伴栃木2018



介護の日フェスティバル



地域シンポジウム



介護保育研究発表会

◎平成30年度 ふくし応援し隊&CROW カフェ実施報告

毎月第3木曜日11時30分から、敬愛会機能訓練指導員(高橋、印南)を講師として講座や体操を行い、12時30分から敬愛会栄養士が栄養バランスを考えたワンコインランチの提供を、駅前ひろばタッチにて実施致しました。(但し8月についてはお盆期間中により未実施)。

今年度の新たな取組みとして、参加者を講師とした教室の開催、嚙下体操の一

環として全員で合唱（選曲は参加者が決めている）等をメニューに取り入れました。又、CROW カフェでは、地域福祉の一環としてみつわ工房様との協働によりデザート仕入れや、直売会を実施致しました。

実施日	ふくし応援し隊	CROW カフェ	参加人数
4月19日	健康寿命を延ばそう	鮭のチャンチャン焼き他	6名
5月17日	呼吸を学ぼう	シラスと枝豆の混ぜご飯他	6名
6月21日	折り紙、骨盤・体幹体操	ハンバーグ弁当他	8名
7月19日	トイレ動作の向上	冷やしうどん他	6名
9月20日	発声体操と音読	五穀米の栗ご飯他	6名
10月18日	折り紙、入浴動作の向上	オムライス他	6名
11月15日	肺炎について	親子丼他	6名
12月20日	冬に気をつけること	けんちんうどん他	6名
1月17日	冬の健康対策	豚しゃぶのサラダ添え他	4名
2月21日	春に気をつけること	押し寿司他	6名
3月14日	春のウォーキング	きくらげと卵の中華炒め他	6名
(合計)			66名

ふくし応援し隊の風景



(イ) 総務部

総務部は「安心安全な職場の土台作りを行なうとともに、様々な場面で臨機応変な対応が出来る職員育成を目指す」を年間目標に掲げ、職場内巡視や内部研修の定期的な実施を行うことにより、環境整備改善や情報発信・質の向上に努めて参りました。

職場内巡視を行うことで安全な職場環境に対する意識が高まり総務部職員ならではの気づきや情報発信が出来、内部研修では積極的に学ぶ意識付けが高まり業務改善に繋ぐことが出来、その結果意識向上に繋がりました。

また、多職種との情報共有を積極的に行う事により、発信する力がつくとともに自部署だけでなく法人全体での意識改革に努めることが出来ました。

今後も業務にかかる事だけでなく、学びたい力を伸ばす環境づくり・広い視野を持つ職員の育成・グループ全体を盛り上げていく行動力のある職員育成に努めて参りたいと思います。

◎総務課・雇用推進相談室

- (1) 職場内巡視の定期的な実施・情報発信
- (2) 利用料口座振替全面移行へ向け継続的な支援
- (3) 福利厚生制度や届出ルールへの情報発信・職員サポート
- (4) 未収金0を目指した情報発信・対応の強化
- (5) 年間を通して行ったコスト管理
- (6) 各イベントのサポート

◎栄養課

- (1) 加算取得へ向けた準備
- (2) ご利用者の食に関する改善策の提案や実施
- (3) 法人設立記念行事食の立案
- (4) イベント食のサポート
- (5) 職員への健康アドバイス

◎こども課

- (1) 地域に向けた発信
 - ・ 卒園児・地域の児童・児童養護施設児童との交流（夕涼み会の開催）
 - ・ 保育・介護研究発表会（「高齢者と子どもの日常交流のあり方」について）
- (2) 内外交流
 - ① 「烏山みどり幼稚園」との連携
 - ・ 交流会（月1回）

- ・ 運動会の参加

② 法人内交流

- ・ 地域密着型施設合同秋祭りの開催（親子での遊戯の発表）
- ・ 敬老会行事への参加（お祝いの言葉・歌と遊戯の発表）
- ・ じゃがいも堀り、さつま芋堀りへの参加（さらいにて）
- ・ 餅つきへの参加（てんまりの杜にて）
- ・ 豆まき（なごみ、さらいにて）
- ・ 保育参観（年2回の親子交流）
- ・ お別れ遠足（なかがわ水遊園）

(3) その他

- ・ 施設機能強化推進費にて災害用避難車他防災用品等の整備
- ・ 保育士等キャリアアップ研修への参加（保育士2名参加）



年長組遠足（なかがわ水遊園）



芋洗い（さらいにて）

(ウ) 介護部

(1) 自己決定による自己実現による生活の質向上

ご入居者に話を聞くと、『ラーメンが食べたい』『アイスが食べたい』『どこかに出かけた』等の意見が多く聞かれました。そこで、ご入居者を対象にアンケートを取り、月1回の外出支援と体調不良により長時間起きられない方にも参加してもらえるように、ユニット内でのサークル活動の実施に力を入れました。結果として、参加してくれたご入居者に喜んでもらえ、『また行きたい。まだまだ頑張らないと』と言って生きる活力にもなっています。



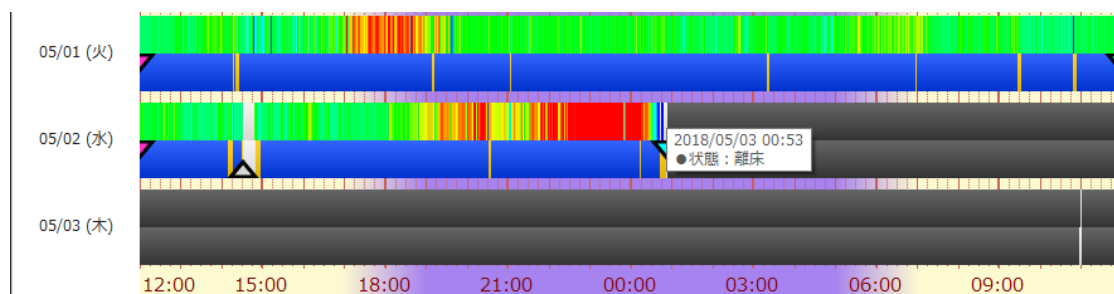
(2) 多職種連携による自立支援介護でのサービスの質向上

今年度より外部に委託し、月に1度機能訓練指導員を派遣していただき、ご入居者のADLの維持・向上に取り組ましました。介護部で進めてきた自立支援介護の専門性を高めるため、機能訓練指導員によるリハビリの方法やリハビリプログラムの見直し、介護職員教育・相談を実施してきたことで、多職種の連携強化が図れました。食事面や歩行などにおいて、変化のみられたご入居者もあり、生活の質改善・サービスの質向上に繋がっております。



(3) ICT活用による労働環境の最適化

昨年度から『眠りスキャン』を導入したことにより、巡視の削減・生活リズムの改善・終末期の方の状態把握と様々な改善で行う事が出来ました。その中でも終末期のご入居者とその家族の関わりについて大きな改善、対応が出来るようになりました。導入前は、訪室すると亡くなっていた事が多く、いつ亡くなっているかわからない事に対する職員の不安増加やご家族も最後に看取る事が出来なかった後悔等がありましたが、リアルタイムのデータで心拍や呼吸の状態が把握できる為、職員の不安軽減し、家族の満足度に繋がっております。



(4) 本人の意向に合わせた外出による満足度の向上

ご入居者より聞き取りを行い、季節やイベントに合わせて外出計画を立案し、重度の方でも外出が行えるよう多職種連携し実施しました。積極的に外出の希望を話す方も増え、生活の質向上が図れております。

また、施設内の活動も活発になってきており、おやつ作りや編み物、ボランティア受け入れによるレクリエーションなどに取り組んでおります。



(ア) 特別養護老人ホーム 敬愛荘

1 ご入居者の生活を大切にする。

普段からご入居者が思っている「前に行って楽しかったからもう一度行きたい。」「家族で行った思い出があるから今度は友達と行ってみたい。」との声を聞き、思い出をもとに個別に外出計画を行ないました。花見や外食へ出かけることでご入居者の「嬉しかった」「懐かしかった」の言葉があり満足感を得られた支援ができました。また、外出支援の回数を重ねるごとにご要望も増え、笑顔も多くみられて参りました。

(イ) 特別養護老人ホーム てんまりの杜

1 自己決定による自己実現に向かい支援を行う。(スマイルプラン)

ご入居者の生活歴や趣味、ご本人・ご家族からの聞き取りを行うなかで、諦めてきたこと、諦めなければならなかったことを調査し、ご本人の意向をもとに自己実現計画(スマイルプラン)の立案及びご家族への説明を行いました。達成に必要なとなる身体機能を改善・向上するため、自立支援介護を実践し課題ひとつひとつ

つと向き合いながら進めて参りました。

目標に向けて取り組んできた事で、生活にメリハリが付き、身体機能の向上により新たな趣味や運動などにも興味を持ち始めており、生活の質の向上にも繋げられております。



地域の祭り参加



観劇鑑賞

(ウ) 介護計画課

月に1度のケアカンファレンス及び臨時ケアカンファレンスを開催し、本人本位のサービス提供に繋げることが出来ました。今後もアセスメントに重点を置き、個々それぞれの望む生活が送れるよう支援を進めると共に、積極的に研修会に参加することで内部研修等の実施へ繋げていきます。

・平成30年度 よつばカフェ(認知症カフェ)実施報告

月	日	場所	内容	デザート	参加人数
4月	13日	駅前ひろばタッチ	キーホルダー作り	手作りドーナッツ	8名
5月	11日	駅前ひろばタッチ	犬のぬいぐるみ作り	手作り バニラヨーグルト	8名
6月	8日	駅前ひろばタッチ	フェルトの薔薇作り	手作り バナナケーキ	8名
7月	13日	駅前ひろばタッチ	介護予防体操	手作り ホットケーキ	10名
8月	10日	駅前ひろばタッチ	炭酸饅頭作り	手作り炭酸饅頭	8名
9月	14日	駅前ひろばタッチ	つまみちりめん作り	手作りケーキ	7名
10月	12日	駅前ひろばタッチ	押し花作り	手作り	6名

				フルーツゼリー	
11月	9日	駅前ひろばタッチ	折り紙作り	手作り ミニドーナツ	7名
12月	14日	駅前ひろばタッチ	クリスマスリース作り	手作りケーキ	8名
1月	11日	駅前ひろばタッチ	干支 猪押し花 カレンダー作り	みつわ工房お菓子	7名
2月	8日	駅前ひろばタッチ	お好み焼き作り	手作りお好み焼き	5名
3月	8日	駅前ひろばタッチ	手作り箱作り	みつわ工房お菓子	6名
合計					88名

平成 28 年度 参加者数 59 名
平成 29 年度 参加者数 77 名 (18 名増加)
平成 30 年度 参加者数 88 名 (11 名増加)

よつばカフェの風景





(エ) 在宅介護事業部

ご利用者の心身の状態や生活に対する意向をより細かくアセスメントし、一人一人の生活ニーズに沿った在宅サービスの提供に努めて参りました。また、各職員がご利用者の生活を支援する専門職として、援助技術の向上と接遇やマナーを身に着けるために法人内外の研修会などに積極的に参加し、ご利用者やご家族、関係機関から信頼される事業所を目指して参りました。

◎敬愛荘デイサービス

(1) 月替わりでフェア、行事を実施

ご利用者にも恒例となって来ました「フェア」は4年目を迎え、「インパクト、ライブ感」をコンセプトに創意工夫をしながら実施して参りました。また、自宅に持ち帰り飾ることができる作品作りなど、楽しめる行事を開催して参りました。

月	提供されたフェア、行事
4月	イタリアンランチフェア 母の日カーネーション作り
5月	バーベキューフェア（屋外にて実施） 手作りおやつ（柏もち）
6月	とちぎグルメフェア（宇都宮餃子やレモン牛乳を提供） 曜日対抗玉入れ合戦
7月	夏野菜フェア 七夕短冊・飾り作り
8月	お好み焼きフェア デイサービス夏祭り、敬愛荘夏祭り参加
9月	秋の行楽弁当フェア 敬老会（職員による踊り披露・手作りストラップのプレゼント）
10月	巻き寿司フェア（てまり寿司など） デイサービス運動会（なごみの利用者様を招待）

11月	芋煮会フェア 手作りおやつ（おやき）
12月	クリスマスフェア（鳥の丸焼き） 餅つき・デイサービス紅白歌合戦・年賀状作り
1月	中華風おせちフェア 福笑い・新春かくし芸大会・手作りおやつ（クレープ）
2月	彩り鍋フェア（トマト鍋・カレー鍋） 手作りおやつ（蒸しパン）
3月	春の天ぷらフェア 手作りおやつ（いちご大福）



芋煮会フェア



クリスマスフェア



年賀状作り

(2) 個別機能訓練の実施

平成30年度も在宅生活における日常動作の維持・向上を目指した個別機能訓練を実施して参りました。

個別機能訓練実施者延べ人数（要支援利用者含む） 4,493名

(3) 県老協イベントへの参加

栃木県庁にて開催された「介護の日フェスティバル」に参加希望者を募り、26名のご利用者が参加され、外出とイベントを楽しんで参りました。また、とちぎ福祉プラザにて開催された「デイサービス事例発表会」では、当デイサービスセンターの事例発表や他事業所の事例を聴くなど「学び」を実践して参りました。

◎敬愛荘ショートステイ

(1) 安心して過ごせる「生活の場」の提供と「楽しい」を感じる行事の実施。ご利用者と職員が一緒に出来る行事の計画及び実施する事で、利用する楽しみを持って頂けるよう、ご利用者との交流を大切にして参りました。

月	提供された行事、手作りおやつ
4月	こいのぼり作り
5月	ちぎり絵（紫陽花）
6月	アジサイゼリー、七夕飾り
7月	かき氷作り、敬愛荘ビアガーデン参加
8月	カラオケ大会、ホットケーキ作り、敬愛荘夏祭り参加
9月	秋の味覚オブジェ作り
10月	ホットケーキ作り
11月	クリスマスツリーの飾り付け、カラオケ大会
12月	クリスマス会・クリスマスケーキ作り
1月	かるたとり大会
2月	ひな人形作り
3月	節分、さくらのオブジェ作り



制作活動



節分



ホットケーキ作り

◎敬愛荘在宅介護支援センター

介護保険制度や介護支援に必要な各種制度に関する理解を深めるために、研修会、勉強会への積極的な参加や外部の事業所と連携を図り、ご利用者及びご利用者を支えるご家族の声に耳を傾け、在宅生活を続けて行けるサービス計画の作成を行って参りました。

◎小規模多機能ホームなごみ

毎月、ドライブやボランティア受け入れの計画を立て、ご利用者様が地域の方との交流を深めたり、外に出て楽しんでいただけるような機会が出来るようにして参りました。また、保育園との交流も行い一緒に歌を歌ったり、おやつを食べたり子供たちとの触れ合いの中でとても良い刺激をもらうことが出来、生きる力、元気をもらっております。内部研修、外部研修に参加をしてもらい職員のスキルアップに繋がるようにして参りました。



子供達との交流



南平台観劇鑑賞ドライブ

◎グループホーム さらい

(1) 利用者満足の上

ご入居者に、自分で出来る事を活かし手作りの食事やおやつ等のメニューを立案して、材料購入から調理を行い会食会の機会を増やしたことで、和気あいあいのご様子が見られ、意欲的な生活が送られております。季節に合った外出支援として道の駅に行き、食べたいものを注文頂き「美味しかった。一味違うね。嬉しい。」の声も聞かれました。また、地域開催のイベントにも出向いて満足そうな表情と生き生きとした様子も見られました。これからも、地域に出向く機会を増やして季節感の感じる支援に取り組んで参りたいと思います。





(2) 職員の認知症への理解、意識の向上

職員に認知症に対する理解を研修や研修後の発表など、職員会議で皆で共有することで、自信を得、職員のスキルアップにつなげ転倒及びその他の事故発生件数の減少に繋がってきました。さらに、職員会議の重要性を理解し参加の意欲向上も見られてきました。今後も、ご利用者やご家族との信頼関係を築いて行くためにも、認知症への理解、意識向上に努めて行きたいと思えます。

(3) 地域社会との関わり

やりがいのある生活支援活動の実施

社会とのつながりを広げるとともに、やりがいのある生活を感じて頂けるようご利用者と職員が一緒に参加して地域の方との交流を深めました。

月	地域への活動・イベント参加
1～3月	よつばカフェ 感染症予防のため職員（1名）のみの参加
4～12月	よつばカフェ 利用者（3名）職員（1名）
5月	地域美化活動（雨天中止）
9月	第1回RUN伴～那須烏山市エリア～ 利用者（2名）職員（1名）参加

ご利用者及びご家族が望んでいる生活分析を行い、介護保険制度や介護支援に必要な支援を実施しており、例として、帰宅要求の強いご利用者にご本人の思いを伺いご自宅訪問を行うことで一時的ですが落ち着かれた様子が見られております。今後も、ご本人の思いを尊重した支援に取り組んでいきたいと思えます。また、新規入居様を受け入れる際、居宅サービス事業者や地域包括支援センター、医療機関等の連絡調整やご利用者が適切なサービス等を利用出来るために迅速に対応し落ち着いて生活出来る環境作りに務めております。

(オ) 地域包括支援センターからすやま

(1) 実績報告

1、介護予防ケアマネジメント業務	2,248 件
内委託件数	1,098 件
2、総合相談	243 件
3、権利擁護事業	7 件
4、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	30 件
5、認知症の人や家族の支援	37 件
6、その他の業務（関係会議参画・出席）	75 件

- 1、新規サービスのホームヘルプ事業Ⅱの活用や各病院との連携、地域資源の活用も推進しながら対応することができた。
- 2、事業開設をアプローチしながら、ネットワークの基盤作りとともに対応。適正な制度の活用、直接支援、相談内容に応じ、初期段階で早期家庭訪問を実施し実態把握に努めながら、困難事例ケースに陥らないよう防ぐことができた。
- 3、権利擁護事業の件数は少ないが、趣旨、説明を行い必要性に応じ制度の活用を勧めた。また、虐待案件については病院及び警察署警務課と連携を図り支援従事。速やかな対応を心掛け実行。継続的に支援を図り防止できている。
- 4、委託の担当者会議はできる限り同席し助言や状態確認を行いながら介護支援専門員との関係作りを図った。また、ケアマネから個人的に対応相談など実施し、状況に応じ同行訪問や支援への助言、市外のサービス情報を提供しケアマネジメントのスキルアップに貢献。
- 5、認知症相談において、必要性がある対象者には認知症疾患医療センターへの受診をすすめ、具体的説明を行いながら速やかに受診ができるように支援。介護保険に結び付いていない対象者において PSW と連携し、情報共有、協働支援を行うことができている。また、市内の認知症看護認定看護師へ相談しオレンジドクターへの受診もすすめながら認知症予防対策への土台ができ始めている。
- 6、地域ケア会議において事例提出を速やかに行い、対応策等への意見交換を行った。多職種連携を意識しながら、個別事例会議を開催。研修、会議等においては調節しながら参加。

(2) 個別機能訓練の実施

平成 29 年度も在宅生活における日常動作の維持・向上を目指した個別機能訓練を実施して参りました。

個別機能訓練実施者延べ人数（要支援利用者含む） 4,667 名

(3) 日常生活支援・総合事業

日常生活支援・総合事業も 2 年目を迎え、烏山地区での生きがいデイサービス提供事業所として、社会参加と介護予防のためのサービス提供をして参りました。

3、平成30年度利用実績状況

特別養護老人ホーム 敬愛荘 月別施設入居者（定員80床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	29年度	2,377	2,450	2,389	2,475	2,464	2,400			
	30年度	2,399	2,413	2,400	2,438	2,430	2,311			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	29年度	2,464	2,362	2,474	2,478	2,206	2,423	28,962	79.3	99.1%
	30年度	2,414	2,395	2,465	2,477	2,240	2,455	28,837	79	98.7%

年間要介護状態区分

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
延べ入居者	279	0	5,535	9,790	13,358	28,962	4.2
	0	637	5,643	9,604	12,953	28,837	4.2

新規退去・入居者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
29年度退居者	4	1	1	0	2	0			
29年度入居者	1	4	0	1	1	1			
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
29年度退居者	2	3	1	2	4	2	22		
29年度入居者	1	2	4	0	2	5	22		

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
30年度退居者	2	1	1	2	2	3			
30年度入居者	0	1	2	2	1	2			
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
30年度退居者	2	0	2	0	0	3	18		
30年度入居者	4	1	1	1	0	1	16		

特別養護老人ホーム てんまりの杜 月別施設入居者（定員29床）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ入居者	29年度	870	899	838	866	871	848			
	30年度	864	890	836	888	885	851			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ入居者	29年度	868	859	897	899	786	899	10,400	28.5	98.3%
	30年度	896	870	899	872	792	883	10,426	28.6	98.6%

年間要介護状態区分

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
延べ入居者	339	396	3,305	3,569	2,791	10,400	3.7
	365	275	5,237	2,027	2,522	10,426	3.6

新規退去・入居者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
30年度退居者	1	0	0	1	2	1			
30年度入居者	1	0	0	1	2	1			
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
30年度退居者	1	0	0	0	1	1	8		
30年度入居者	1	0	0	0	1	0	7		

特別養護老人ホーム敬愛荘 短期・通所

月別施設利用者（定員15床） 短期（予防含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	29年度	364	361	371	396	429	405			
	30年度	382	347	402	408	402	374			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	29年度	390	353	393	377	361	365	4,565	12.5	83.3%
	30年度	426	406	427	390	372	423	4,759	13.0	86.9%

月別施設利用者（定員30名） 通所（通所型サービス含む）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	29年度	660	719	693	663	676	669			
	30年度	658	694	695	718	696	613			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	29年度	675	669	663	618	602	697	8,004	21.9	73.0%
	30年度	641	597	602	542	492	559	7,507	20.5	68.5%

月別施設利用者（定員15名） 生きがいデイサービス

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	29年度	32	34	54	46	48	60			
	30年度	33	38	43	29	34	29			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均	稼働率
延べ利用者	29年度	48	49	60	36	34	44	545	10.4	69.8%
	30年度	28	33	26	21	19	36	369	6.9	46.0%

月別居宅介護支援状況 居宅

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
延べ利用者	29年度	105	99	98	95	98	102			
	30年度	104	105	106	105	109	108			
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
延べ利用者	29年度	105	99	102	105	107	107	1,222	101.8	
	30年度	111	110	111	109	109	112	1,299	108.2	

年間要介護度区分 短期

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
延べ利用者	29年度	636	1,380	1,446	825	215
	30年度	917	1,065	1,346	913	454
区分	要支援1	要支援2	合計	平均介護度		
延べ利用者	29年度	0	63	4,565	2.7	
	30年度	0	64	4,759	2.7	

年間要介護度区分 通所（通所型サービス含む）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
延べ利用者	29年度	3,119	1,744	793	730	57
	30年度	2,770	1,520	718	772	45
区分	事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度	
延べ利用者	29年度	73	372	1,116	8,004	1.6
	30年度	97	415	1,170	7,507	1.5

年間要介護度区分 生きがいデイサービス

区分	事業対象	要支援1	要支援2	合計	平均介護度	
延べ利用者	29年度	320	133	92	545	0.4
	30年度	172	134	63	369	0.4

グループホーム さらい

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
入居延べ人数 (人)	平成29年度	539	555	539	558	552	539		
入居延べ人数 (人)	平成30年度	535	548	515	558	554	527		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入居延べ人数 (人)	平成29年度	558	539	551	554	481	535	6,500	542
入居延べ人数 (人)	平成30年度	555	539	556	545	480	532	6,444	537

小規模多機能ホーム なごみ

月別登録者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
登録者数	29年度	21	23	23	22	23	22		
	30年度	19	23	22	21	21	23		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
登録者数	29年度	23	20	21	20	21	18	257	21.42
	30年度	22	23	22	23	22	22	263	21.92

月別宿泊サービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	29年度	195	226	219	257	261	292		
	30年度	241	244	224	218	188	188		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	29年度	293	258	207	227	212	222	2,869	239.08
	30年度	206	232	231	204	202	206	2,584	215.33

月別通いサービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	29年度	406	445	448	484	484	498		
	30年度	417	463	457	451	432	423		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	28年度	503	456	395	399	375	399	5,292	441.00
	30年度	447	457	448	410	391	414	5,210	434.17

月別訪問サービス利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	29年度	34	34	24	27	30	23		
	30年度	39	43	42	23	22	21		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用者数	29年度	30	23	31	26	26	26	334	27.83
	30年度	42	40	59	63	77	81	552	46.00

にじいろ保育園

月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	29年度	7	8	9	9	8	8		
	30年度	10	10	10	10	10	10		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均数
利用者数	29年度	8	8	8	8	10	10	101	8.4
	30年度	10	10	10	10	10	10	120	10

一時預かり事業 月別利用者数

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	29年度	1	4	2	4	3	5		
	30年度	3	7	0	3	5	13		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均数
利用者数	29年度	2	44	39	44	5	4	157	13
	30年度	13	8	8	10	14	23	107	8.9